



西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会

西麗会ホームページ <http://www.seireikai.org/index.html>



わさびの香をたぐひて
ちりばちりたれあはれ
ゆめをたぐひて



2015

会長あいさつ

西麗会会長 村上明夫(昭和36年卒)



全国の西麗会会員の皆さんお元気ですか。皆さんにご支援頂きました国際交流活動や西麗会文庫を内容とする「西麗会グローバル応援プロジェクト」も順調にスタートしました。

母校浦和西高は昨年、創立八十周年を迎えました。全県下の公立高校で創立二十五番目、卒業生約二万五千名の伝統校です。

現役生徒さんたちは「自主自立」の伝統のもとに日夜頑張っています。西麗会は会長の私が創立八十周年の記念事業実行委員会の委員長となり、藤井副会長が副実行委員長、各理事が式典、記念事業、記念誌編集などの各部の委員となり、八十周年記念事業を支えて来しました。

この八十周年を通じて得られた成果は主に二つあると考えます。

一つは、浦和西高は「自主自立」を伝統とする歴史ある学校であり、卒業生が各界で活躍していることが改めて在校生はじめ多くの方に明らかになったことです。

二つ目は、学校、PTA、後援会など浦和西高を愛し大きな役割を果たしている諸団体の人たちと私たち西麗会理事のきずなが一層深まったことだと思えます。

西麗会はこの八十周年の成果を大事にして、西高の主役である現役の生徒さんを始め、各団体の方達と協力して浦和西高を伝統校にふさわしい学校として発展させていくため活動したいと思えます。会員の皆さんの一層のご支援ご協力を切にお願い致します。

表紙のことば

万葉集4,500余首のうち、3分の1に当たる1,700首に植物が詠み込まれているのは万葉人たちが自然をより近く感じていたからだろう。

「ウメ」は万葉集中119首に詠まれており、「ハギ」の147首に次いで第2位の登場回数となっている。

梅は当時中国から渡来したばかりで珍重されたようだ。

西高の万葉の庭には紅梅、白梅があり、他の花に先がけて咲き春を告げる。

歌は大伴旅人で

わが苑に梅の花散る

ひさかたの天より雪の流れ来るかも

(巻五の八二二)

意味は

「わが園に、梅の花が散る。天から雪が流れて来るのだろうか」

英文では

*Plum blossoms fall and scatter in my garden;
is this snow come streaming from the distant heavens?*

By the host Ōtomo Tabito
(リービ英雄 訳)



私と西高

私の原点

平井 洋行 (平成四年卒)



務隊と、普段は警察官の仕事をしなが
ら、必要時に演奏する兼務隊に分かれま
す。専務隊は全国に10隊しかなく、埼玉
県警もその1つです。特に埼玉は音楽大
学から直接オーディションで採用する方
式を取っており、全国警察音楽隊で唯
一、演奏者に警察官が一人もおりませ
ん。演奏を仕事にする職場としては最高
の環境であると言えるでしょう。誰でも
聴くことができますので、興味を持たれ
た方はぜひご来場下さい。

私が西高を志望した理由は、管弦楽部
があるからでした。中学時代は吹奏楽部
でしたから、オーケストラで演奏できる
なんて、本当に夢のようでした。当時の
管弦楽部は、部活だけでなく、埼玉青少
年交響楽団という一般の楽団と一緒に活
動していました。そのおかげで、在学中
はたくさん本番を経験することができま
した。音楽をやるものにとって、発表の
場である本番が多いというのは、とても
重要です。多くのステージに立たせても
らえたことは、高校生にとって大変幸せ

現在私は埼玉県警察音楽隊のクラリ
ネット奏者として、年間200回以上に
及ぶ演奏活動を行っています。警察に音
楽隊があるということをご存じない方
や、知っていても演奏を聴いたことがな
いという方のために、ここで簡単に紹介
をさせて下さい。警察音楽隊は皇宮警察
と全国都道府県警察に各1つずつ、計48
隊あります。警察の公式行事の他、県
内の各種イベントや小・中学校の芸術鑑
賞会など、幅広い活動を行っており、警
察と県民を結ぶ音の架け橋として活動を
行っています。
警察音楽隊は演奏のみを専門にする専

なことでした。また、第一線で活躍して
いるドイツ人のプロ演奏家と共演する機
会もあり、目の前で本物の音に触れる機
会があったことで、すっかり音楽のとり
こになってしまいました。

米原先生の指導の下、音楽の授業で第
九を勉強したことも楽しい思い出です。
音楽選択者は、埼玉会館で第九を歌うと
いうイベントもありました。もちろん
オーケストラの伴奏付きです。当時の音
選の方、覚えていらつしやいますか？一
生のうちになかなかできない貴重な体験
だったのではないのでしょうか。

西高には自由な校風に憧れて個性的な
生徒が集まってきました。制服がないとい
うのも大きな魅力の1つでしょうが、私
はあえて3年間学ランで通い、無遅刻、
無欠席を達成しました。つまり私も十分
個性的な1人ですね。そんな自己主張の
強い面々と何かを作り上げる作業は本当
に面白く、刺激的でした。卒業後はきつ
とクリエイティブな仕事に就いている方
も多いのではと察しています。今の自分
があるのも、こうした西高時代の影響が
大きいです。

その後は東京藝術大学に進学し、音楽
を勉強しました。数年後、教育実習で西
高に帰り、音楽の授業をしたのがきつっ
かで、その後も管弦楽部とのつきあいが
できました。年一度の定期演奏会には毎
回指揮する機会があり、第1回から第15
回まで出演させていただき、数多くの後
輩たちと演奏する機会を得ました。年

齢差を越えて、今でも交流が続いていま
す。

最近では西高卒業生を中心にしたアマ
チュアオーケストラ、NIONフィル
ハーモニー管弦楽団を立ち上げ、指揮を
執らせて頂いています。数年かけてペー
トーベンの交響曲を全曲制覇することを
目標に掲げ、日々練習に励んでいます。
今後も現役生とのつながりを作りなが
ら、西高パワー全開で頑張りたいと思っ
ています。

応援よろしくお願いします。

現職

埼玉県警察音楽隊
コンサートマスター



NIONの練習風景



あの先生は今



●さいたま市 青木 香(英語)

吉川高校が単位制総合学科の吉川美南高校になって2年目となりました。新体制の確立、充実に向けて頑張っています。いつも母校が規準になっています。

●東松山市 荒井 桂(社会)

〈孝^{テツ}近き齢となりてなほ元氣西高去りて五十二年〉西高に恩顧を賜ひし先達も概ね逝きてわれも老いたり。新米教師として五年。忘れ難い想い出。

●さいたま市 新井知子(社会)

古稀を過ぎました。最近では外国ではなく日本を車で回りながら、美しく美味しい日本を味わっています。原発・戦争を嫌悪しながら。卒業生の幸せを念じております。

●さいたま市 五十嵐正晴(校長)

総会に欠席いたします。

●練馬区 石川光司(物理)

昨年退職しました。いままで忙しさに追われてできなかった事をやり、楽しく元気にやっています。自主自立、アカデミックを私も忘れずにがんばりたいと思っています。

●さいたま市 石坂晃一(社会)

昨年から鳩山高校で勤務しています。西高では十年間貴重な経験をさせていただきました。西



▲昨年度総会より

高および西麗会のさらなる発展を祈念しております。

●さいたま市 伊藤美和子(事務)

会報ありがとうございます。元気で生活しております。西麗会総会のご盛会をお祈りいたします。

●千葉県長生郡 上野賢樹(社会)

平成26年3月に定年退職しました。現在、千葉県の外房にて「人生の楽園」さながら

らの田舎暮らしをし、自給自足をめざしています。

●川口市 岡沢静子(国語)

おかげさまで、それなりに元気です。半年は北アルプスを眺めています。

●さいたま市 小川 均(理科)

転勤して十年余。今は菜園にて耕し、ささやかな収穫を楽しむ毎日です。時折、関東一円の道の駅を訪ね、日常からの変化と地方の豊かな農産品を買うこの頃です。

●さいたま市 倅田てる(家庭)

なんとか元気にしています。今年95歳、自分でも驚きです。昔、自動車運転を始めた頃、校門の坂道を前の畑まですべり落ちたことがあります。皆なつかしい想い出ばかりです。

●さいたま市 菅野吉雄(校長)

西麗会、クローカル応援プロジェクト、西麗会文庫、万葉の歌にちなんだヤマザクラの植樹、すべての取り組みに凛とした西麗会の哲学がある。母校愛日本一の西高。

●さいたま市 木村康之(数学)

平成26年4月に川口北高校に異動になりました。定年退職まで7年精一杯頑張っています。西麗会総会のご盛会をお祈りいたします。

●川越市 久津間文隆(地学)

2014年3月をもって定年退職となりました。地学の授業で自転車に乗り見沼田んぼを走ったのを、ついこの間のことのように思い出します。

●さいたま市 黒澤和子(家庭)

相変わらず、童謡コーラス、音痴なのに、先生方が、明るく楽しく指導して下さい



▲昨年度総会より

ますので頑張っています。毎週日曜日朝八時よりテレビ埼玉に出ています。見てね。

●さいたま市 小林 功(国・司)

PTA・後援会のみなさんとともに西高80周年記念誌の編集に携わっています。70周年記念誌のときに苦勞をともした蒲生さん、斉藤さん、廣上さんをはじめ、編集部会の皆さまお元気でしょうか。

●銚田市 斎藤 恂(国語)

田舎暮らしを始めて10年経ちました。浦和西高に勤務したのも10年間でした。歯医者と眼医者(白内障手術)以外にこの10年間に健康保険証を使用する機会がありませんでした。

●越谷市 佐藤和平(理科)

総会の案内をありがとうございます。西高での7年間は私の宝物です。西高のま

すますのご発展を祈念しております。

●熊谷市 佐藤嘉信(数学)
母の介護をしている以外は、ほとんど変化のない生活をしています。卒業生、旧職員の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り致します。あの頃の皆の笑顔がうかびます。

●さいたま市 柴崎武宏(化学)
東洋大学で教育相談の講座、さいたま市のスクールカウンセラーとしての第一歩を歩み出しました。会報でなつかしい方々のたよりが心の糧になります。感謝、感謝。

●さいたま市 柴田久美子(国語)
今勤めている学校に以前西高にいらした先生がいて時折西高レジェンドを楽しめます。遅刻坂の桜、ゆりの木、そしてユニークな先生方のことなど、また会えますよね。

●さいたま市 菅原鉄也(国語)
今年度も岩槻北陵高校でお世話になっております。素直な生徒達と一緒に楽しく学び合っています。週末は佐野市の山奥で子供達と野菜作りをしています。

●さいたま市 関根 廣(校長)
創立八十周年おめでとうございます。在職最後の年が七十周年の年でした。PTA・後援会、西麗会の皆様と周年事業を進めたこと、懐かしく思い出します。

●東松山市 館野俊則(国語)
大学と専門学校で「文章表現法」の授業を続けています。あと3年で、国語の授業を50年間することになります。元氣なうちは、この唯一の趣味を、と思えます。

●さいたま市 永瀬正臣(校長)
病氣療養中で総会欠席しますがご盛会をお祈り申し上げます



▲記念授業 中村正美先生

す。近況は「力なき身にはあれども我が命、狭山雪冤果たせ給え」と石川一雄氏の支援活動に努力中です。

●さいたま市 中村 清(国語)
地元で自然に親しむ日々を送るほか、博物館や美術館巡りを楽しみにしております。

●川越市 中村正美(英語)
平成25年12月に、12年介護した母を亡くしました。一緒に眺めた満開の桜を、今年母をしのびながら一人で見てきました。母のように一生懸命生きたいです。

●川越市 長谷川肇志(数学)
86歳になりますが、若い時に最も長く勤めた西高のことは折に触れ懐かしく思い出します。西麗会の益々の発展を祈ります。

●比企郡 堀口幸夫(社会)(教頭)
毎日散歩しながら短歌をつくるのを楽しみにしています。最近の拙い一首。作歌は楽しいですよ。《絹糸の風に流るる如くにも柳枝ひかる驚いろに》

●さいたま市 松崎豊子(英語)
留守にしておりますが返事が今頃になりました。年はずっとも西高の思い出は生

きています。創造力豊かな皆さんの活躍を祈っています。

●蓮田市 本橋恒雄(書道)
昨年より、女子栄養大学に講師としてお世話になっております。書道の世界で、中央、県、地域の方々と楽しく多忙な日々を送っています。

●さいたま市 山口畑一(社会)
農民美術運動の提唱者山本 鼎記念館が新設の上田市立美術館に吸収され、今秋開設記念展に所蔵の農民美術木彫風俗人形を農美組合別に厳選し、約200点出品します。

●川越市 吉沢義和(書道)
会報たのしみにしております。この時期になると育てている草花が元気に花をつけてくれます。相変わらず元気に日々忙しく過ごしています。ご盛会をお祈りいたします。

●さいたま市 芳野弘明(教頭)
西麗会報ありがとう。私こと88歳で、長生きの褒美を頂きましたが、体力は急に落ちてきました。小説等を月に7冊位読み、ざる暮も楽しんでます。

●さいたま市 米原 豊(音楽)
西高管弦楽部の卒業生が中心になって結成したN I O N(二音)フィルハーモニーオーケストラのピオラ奏者として、楽しく、幸せな老後を送っています。

●比企郡 和田幸男(地理)
日頃の会運営に感謝。創立八十周年を嬉しく存じます。西高と言えば浦和西の体験は忘れ得ない。比企丘陵にて自然と遊び、書に親しみ、人生を楽しみ日々です。



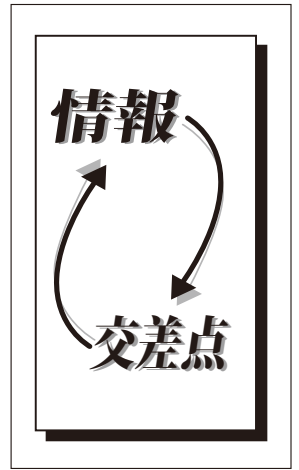
▲昨年度総会より

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

●桑久保正志先生(英語・教頭)
平成25年11月25日に死去いたしました。故人が生前賜りましたご厚情に心より御礼申し上げます。(ご家族より)

●滝本 滋先生(理科)
平成25年5月14日に逝去しました。生前大変お世話になりました。ご家族より



○硬式テニス部は男子団体・女子団体の部において県大会に出場しました。

○ソフトテニス部は會田・神ペア、牧口楓花さん、中沢夏美さんがそれぞれ県大会に出場、高橋柚夏さん、関根知紗さんが新人戦南部地区大会個人戦2部において準優勝しました。

○女子サッカー部は学校総合体育大会において優勝し、関東大会に出場しました。同部宮下真優佳さんが国体に出場、松浦彩佳さんが帯同しました。

○女子バスケットボール部は関東大会県予選に出場、インターハイ予選で県ベスト16になりました。

○野球部は第96回全国高等学校野球選手権大会において3回戦まで進みました。

○器械体操部は県南部地区大会において寺本達紀さんが男子個人総合3位、女子が5位に入賞しました。

○美術部・保田千晶さんは第15回高校生国際美術展で佳作に入賞しました。

○本会会員で評論家、「シノドス」編集長の荻上チキさん(平成12年卒)は、2014年9月7日、第64回西高祭のPTA・後援会主催の文化講演会において、「ポジ出し思想から見えてくる未来の社会」と題して講演したのち、「コールドイネーター役となつてパネルディスカッションを行いました。株式会社代表取締役大谷義武さん(平成6年卒)は、2014年11月21日、進路講演会「未来の種」において「私の人生を変えた東京大学」と題して講演しました。子ども時代に病弱だった自らの経験から、「病氣の子どもの役に立ちたい」と決意し、現在に至るまでを話されました。



▲講演風景

西麗会への 寄付のお願い

西麗会の活動は、卒業生が入会する際の終身会費と、皆様からのご寄付によって支えられております。

毎年、多くの方からご寄付をいただいておりますが、平成25年度の寄付額は約136万円と、5年前から約45万円減少しており、全体の決算も単年度では赤字収支となっております。

平成26年4月からは消費税が増税となり、諸経費が増加しているほか、今後の周年行事の際に実施する記念事業に備えた計画的な積立も必要です。

今後とも、会員の皆様への会報発送を継続するとともに、西麗会の活動を安定的に実施するため、金額にかかわらず、一人でも多くの会員の皆様からのご寄付を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

「西高80周年記念誌」 好評販売中!

郵便局から「郵便振替」にて1,000円(送料込み)を送金し、通信欄には「80周年記念誌」と明記してください。

(口座番号)00190-6-178474
(加入者名)浦和西高等学校西麗会

お世話になった 先生方

平成26年度人事異動
(敬称略)

生物	化学	国語	国語	美術	数学	情報	情報	業務主任	事務室	事務室	英語	英語	英語	家庭	保健体育	保健体育	数学	地歴公民	地歴公民	地歴公民	国語	国語	教頭
半本	高松	欽塚	柏崎	齋藤	佐藤	鈴木	相馬	岡田	戸田恵利子	藤田隆史	富沢章	佐藤勉	杉山理志	関谷和子	中野利一	中村了	北谷勇介	田中俊廣	谷田道治	犬嶋明	田尻良子	赤池力	根本文昭
秀博	正勝	藤代	悠紀	充史	直子	幸子	茂夫	大宮工業高校	大宮工業高校	草加高校	蔵高校	狭山緑陽高校	浦和一女高校	朝霞高校	任期満了	いずみ高校	市立浦和高校	任期満了	八潮高校	蔵高校	大宮工業高校	いずみ高校	鶴ヶ島清風高校
	任期満了	任期満了	任期満了	任期満了	任期満了	任期満了	任期満了																



あの友この友



題字・カット
山本鐘互
(昭和40年卒)

横浜市 鶴澤(狹野)美夜(昭和27年卒)

会報を有難うございました。西高の校風は私の宝物。傘寿を迎えツアー登山パソコン教室太極拳グラウンドゴルフ里山樹木調べなど自由な発想で楽しく暮らしています。

品川区 木下(相見)聖子(昭和29年卒)

おたよりを、ありがとうございます。入学式、卒業式を、あのなつかしい、別所沼の校舎で送り、はや六十年近くなります。

府中市 山本(三角)芙蓉(昭和29年卒)

昨年十一月に夫が亡くなり、私も一月から入院中です。起き上がる事が出来ず、残念ながら今年の桜を見る事は叶いませんでした。来年は良い年にしたいものです。

上尾市 加藤正納(昭和30年卒)

私、埼玉りそな銀行の業務運営に対し意見並びに提案したことにより埼玉りそな銀行桶川支店長様より直々に感謝状いただきました。埼玉りそな銀行100支店前

例なく当社始まって以来の由。ガーデンニング、せんだ及び収穫旬の実当地域20軒並びに来宅の人々にプレゼント。かりん、ざくろ、プルーン、柿、柚子、ブルーベリー、梅、キンカン、クチナシ、レモンetc。

さいたま市 荒井利尚(昭和31年卒)

喜寿と呼ばれる年齢になってしまった。昨年、主治医から「いかに生きるより、いかに死ぬかの方が難しい」と語っていた

のを思い出している。残された時間はわからない。一日一日を大切に激しい時代の変化を見つめて行きたい。

国立市 長谷川愿子(昭和32年卒)

健康に恵まれいろいろと趣味を楽しみ忙しい毎日を送っています。年賀状で、今年はお会いしたいですね。という方とは積極的に会おうと努力して実行始めました。

練馬区 高村和子(昭和34年卒)

子供達も皆独立し主人も実家のリンゴ園の手入れなどで留守が多く私の近況はヨガ体操と愛犬との散歩で楽しく過ごしております。ゆつくりと自分の来し方行く末を考えています。

新潟市 中枝(館野)和子(昭和34年卒)

旅行しか趣味のない私は、危険な中東に行ったり、北極圏に行ったりと世界中を駆けまわっています。北極の他に北極点行もあるそう。もう時間がない!!急がねば。

さいたま市 沢村(前川)栄子(昭和34年卒)

年を重ねる毎に、何をするにも時間がかかり、一日があつという間に終わってしまっています。

三鷹市 松田正剛(昭和35年卒)

会報ありがとうございます。古稀を過ぎ「日々是好日」を心がけ元気に過ごしております。

さいたま市 吉村克昌(昭和35年卒)

大学への進学のみで評価するのは良いとは思わないが、最近の西高はちよつときびしい気がします。後輩諸君がんばれ!!

大田市 八木 正(昭和35年卒)

日々の出来事を記入している五年日記を開く毎に、同じような事をしてきたんだな。と感じます。今年も又同じかな、と思うのですが、少し厚めにいつてみよう。

新座市 松村昭子(昭和35年卒)

御ぶさたしています。元気で過ごしています。今年も寄付一〇〇〇円送りました。六月に同窓会がありますが出席できません。今年もよろしくお願ひします。

さいたま市 斎須祥子(昭和36年卒)

事務局の皆様感謝申し上げます。担任の長谷川先生がお元気です。又孫が今春西高に合格することが出来、喜んでおります。

文京区 林野 宏(昭和36年卒)

新しい会社を創り新刊の準備をしたいと思ひます。人間の社会は問題を生みだす天才でどこでもめごとを創っています。競争と論争こそ人間の原理かと思う。

熊谷市 根岸イチ子(昭和36年卒)

昨年十月、平屋ですが新築しました。小さい庭の手入れを楽しみに生活しております。

飯能市 佐藤誠吾郎(昭和37年卒)

元気で。ヨロシク!!

川崎市 池上浩之(昭和37年卒)

毎年3月になると、大学合格発表の記事が、週刊誌をにぎわすが、西高がどんどん小さくなっているのが大へん残念です。

さいたま市 佐野和義(昭和39年卒)

私の嬉しい西高二ユースが二つありました。一つは一年生のときのクラス会。一つは孫の西高入学(男)まさか西高二代目が出来ると夢のようです。

藤沢市 澁谷(石川)文子(昭和40年卒)

西麗会会報ありがとうございます。お骨折りに感謝です。まず見つけるのは40年卒生のあの友この友欄。少なめですが、皆様お元気でしょうか?70才記念の同窓会を開いていただきたいです。会いたいです。

門真市 岸元(竹田)敏子(昭和40年卒)

二年で女子高から転校して来た時の共学のドキドキ感を懐かしく思い出します。切ない青春を味わい「あんな時代もあったね」と中島みゆきの歌そのものです。

練馬区 中塚俊子(昭和40年卒)

遠野より はるばる来たる 山桜 いずれの時期に 沫今年咲かぬ 咲き誇れしか なら誇るかな

青梅市 増子啓之(昭和41年卒)

13年3月に、42年間勤めた都立高校を退職し、今は都心の大塚にある年金者組合中央に「勤務」し、地元では自治会活動で忙しく、第三の人生を充実させています。

東京都港区 鶴澤利雄(昭和41年卒)

卒業後約半世紀が過ぎましたが今だ現役で働いています。企業に社会に恩返しのためよりやっています。あと何年働けるか分かりませんが?家族も皆健康です。

練馬区 宇根 等(昭和41年卒)

昨年11月に開催された同窓会で久しぶりに多くの皆さんと再会し、楽しいひと時を過ごしました。新藤さんを始め幹事の皆さん、有難うございました。

さいたま市 永田喜雄(昭和43年卒)

ライムライトを見て涙した西高時代、人生で大切なもの、勇気と想像力、少しのお金とチャップリンは言っていました。お金は多いほどいいけどその通りでした。

さいたま市 浅見(下平)政子(昭和43年卒)

北浦和東口歩2分の所にお店をオープンしました。666(みろく)という小さ

なすナックです。あの頃の思い出を語りながら飲んで歌って楽しみませんか!!

千葉市 野中健二(昭和43年卒)

会報で同級生のメッセージを拝読し、大変懐かしく思いました。同窓会等があれば是非お会いしたいものです。

川口市 関口彰子(昭和44年卒)

教員として母校に勤務することはいついかならず、平成23年3月に退職しましたが、浦和西高を卒業したことは40年以上たつても、誇らしいです。

稲城市 小宮英夫(昭和44年卒)

今春三月末日をもって教職を辞しました。漸く本来の画業に集中する時間を得られそうです。まずは延期を余儀なくされていた、ささやかな個展に向けて再起動を。

厚木市 甘利由美(昭和45年卒)

中学校の非常勤講師として10年目になります。今年はやりたいと思っていた資格取得に向けて勉強中です。五十肩など体の不調が続きますが回復待ちです。

市川市 陳野敏弘(昭和45年卒)

妻に先立たれ失意の中で、高校時代には知らなかった同級生女性二人になぐさめられて元気になりました。やはり青春の一時期を共有した人はよいですね。

三郷市 小川詠二(昭和45年卒)

定年退職し2年が終わります。現在は三郷市のおもしろ遊学館につとめています。意欲的な小中学生をささえ、授業の運営をしています。西高の益々の発展をお祈りします。

さいたま市 和田和子(昭和45年卒)

三月に上木崎自宅に部活の仲間が集まりました。下田先生の話、OG・OBの方々の話、桜をながめながら、西高時代を思い出していました。女子バスケット部です。

江東区 石松千春(昭和46年卒)

私達46年卒は一昨年、運動部が中心になり60才記念同窓会を実施、続けて昨年も

開催しました。今後も、益々交流のチャンスを作ろうと画策中です。

北広島市 岩城真幸(昭和47年卒)

本年もわずかですが寄付をさせて頂きました。本年から年金をもらえる年になり、うれしいやらちよつときびしいやら、ふくざつです。本年も元気でくらしたいです。

東茨城郡 吉川桃子(昭和47年卒)

会報誌いつも楽しみにしています。笛好みが高じて、オカリナの講師をしています。自然豊かなこの地で、仲間と共に美しい音色を響かせたい。今の夢です。

北本市 高橋 正(昭和49年卒)

一昨年に『秩父・奥秩父の山塊』という写真集を出版しました。母校にも献本致しましたので、何かの機会にご覧になって下さい。

所沢市 岩田由美子(昭和50年卒)

3月に20年勤めた会社を退職しました。これからは無理のないペースで働きつつ、趣味を高めたいです。1月に初孫が誕生しました。同窓会楽しみにしています。

さいたま市 清宮千加男(昭和50年卒)

一級土木施工管理技士。(マッシュ)と介護福祉士を所有している詩人清宮千加男が絵画にとりくんでいます。皆様おひきたてを宜しくお願い申しあげます。

大阪市北区 小島健一(昭和50年卒)

昨年十一月P・マッカードニーの大阪特別公演に息子と行って来ました。ウクレレのソロから始まり、フルオーケストラで終る『サムシング』に感激。

久喜市 齊田保彦(昭和50年卒)

今年で西高卒業四十年の節目を迎えます。定年退職まであと三年、充実したシニアライフを過ごしたいものです。生涯二度めの東京オリンピックを楽しみますね。

文京区 夏堀 操(昭和50年卒)

大熊さん、いつもありがとうございます。来年で卒業して四十年になります。今頃になって高校生の時にもつと色々やっ

おけばよかったと思つたことしきりです。

神戸市 槌田(赤羽根)敬子(昭和51年卒)

二〇一三年十二月二十日、初孫娘誕生!翌日、救急車で乳児集中治療室へ。三十六日間入院。命の尊さを改めて考えさせられました。孫娘が発表会デビューするまでは私も音楽教室の仕事を頑張ります。

草加市 伊藤京子(昭和51年卒)

今年、姪が西高に入学する事になりました。機会があれば、行事等、見に行きたいです。

板橋区 石川理恵(昭和51年卒)

この学年が六十歳になる平成二十九年の同期会の幹事を仰せつかりました。前回の通知が届かなかった方で、出席希望の方は、名簿の石川宛にご連絡くださいませ。

岐阜市 大島木口(国子)昭(昭和51年卒)

結婚後、岐阜に移り33年。長良川を眺めながらのんびり過ごしています。昨年、第九を歌う機会があり、白木先生のご指導でハレルヤ、コダーイを歌った頃を懐かしく思いました。西高での思い出に、感謝!!

さいたま市 木村 透(昭和52年卒)

山口大学・共同獣医学部・病態制御学講座(実験動物学)の教授として、今春2月に着任しました。獣医学の教育と研究に尽力して参りたいと考えております。

鎌倉市 佐藤冬樹(昭和53年卒)

授業をさぼってこの街へ来ると、あじさい寺辺りでしばしば西高生と出くわしました。お互い何をやってたのだから(笑)

桶川市 森田欣充(昭和53年卒)

この春、長女が結婚、次女が就職と家族の転機を迎えました。会報に寄せる先輩・同窓の元気で明るい近況を参考に、新たな目標を設定したいと思えます。

さいたま市 鳥羽 恵(昭和53年卒)

二〇一五年春一斉地方選挙、日本共産党市議候補。五五歳の挑戦です。保育二三年、映画二〇年、こんなことになるうとへ

会 員 訃 報

心よりお悔やみ申し上げます。

さいたま市 岡村(米田)メリ(昭和14年卒)

長らくお世話になりました。岡村メリ、九十二才にて平成二十五年九月十日永眠いたしました。よろしくお願ひ致します。(長男より)

さいたま市 浅子一子(昭和16年卒)

浅子(上沢)一子は、平成25年10月24日に死去しました。行年90才、静かに旅立ちました。長い間、西麗会会報誌をお送りいただきありがとうございました。

蕨市 武仲としよ(昭和24年卒)

昨年七月に亡くなりました。生前お世話になり、ありがとうございました。

さいたま市 栄 宣裕(昭和28年卒)

夫、栄宣裕は、平成二十一年七月十一日に、永眠致しました。生前中はお世話になり有難うございました。

藤沢市 真杉弘幸(昭和29年卒)

大変お世話になりました。今年一月十九日主人亡くなりましたのでお知らせ致します。妻より

さいたま市 山岸悦子(昭和29年卒)

平成二十五年六月三十日死亡しました。習志野市 伊藤良子(昭和30年卒) 妻良子儀平成二十四年四月二十一日急逝致して居ります。生前皆々様の御交誼を深く感謝致します。(夫より)

大和市 関口守男(昭和31年卒)

同窓会活動ご苦労さまです。私、関口守男の家内です。関口は平成12年12月に亡くなりました事お知らせします。大変お世話でした。会の発展を祈ります。

さいたま市 大澤(関根)忠正(昭和33年卒)

主人忠正は昨年三月亡くなりました。今迄のお付き合い有難うございました。

さいたま市 安西一紀(昭和33年卒)

今までお世話になりました。本年1月8日なくなりました。お知らせいたします。

横浜市 石井辰美(昭和33年卒)

〆は(汗)会報が届く頃には結果が出てるのかしら。

文京区 庄司安廣(昭和54年卒)
西麗会村上会長様、同窓会運営にご尽力いただきありがとうございます。会報を読ませていただき改めて西高生としての誇りを感じます。

さいたま市 渡井則仁(昭和55年卒)
この春から、息子が西高にお世話になることになりました。卒業以来三十数年、西高には行ったことがありませんでした。何かの機会に是非行きたいと思っております。

所沢市 杉田忠彦(昭和56年卒)

現在、所沢市議会議員(二期)をしています。人口減少・少子高齢化が進む中自治体経営は、ますます厳しいものになります。みんなで頑張ろう。

さいたま市 小椋美紀(昭和59年卒)

長男が西高生となり、親子で西高生活を楽しませていただいております。当時と変わった所もありますが、改めて素敵な学校だと感じています。

川口市 中條 覚(昭和60年卒)

当日は欠席しますが、よろしくおねがいします。その節には、大変お世話になりました。なにとぞ内情をお汲みとりいただきまして皆さんなら優勝です。

東京都北区 設楽信生(昭和60年卒)

東十条商店街に出店しました。東京古書組合加盟店の「あざぶ本舗」です。先日は西高の近くへ買取に行きました。蔵書整理をご用意下さいませ。

さいたま市 石川 幸(昭和61年卒)

石川幸・民見子(旧姓関根多美子・同じ61年卒)と中2長女の優、小5長男の青は、在ホーチミンで4年目に。春夏に慣れて元気で！

さいたま市 齊藤雅子(昭和62年卒)

今年の春、息子が自分の卒業した幼稚園に入園します。将来西高に進むかもしれ

ません?!遅まきながら、子育てを頑張っています。

さいたま市 馬場則雄(昭和63年卒)
いつも会報のしく読ませてもらっています。息子が春から高校生。残念ながら西高ではないですが、娘に期待します。野球部も最近強いですね。目指せ！甲子園！

松本市 岸 義朗(平成元年卒)

松本に移り住んで早七年が経ちました。アルプスの山々に囲まれた自然豊かな土地で、子供たちと楽しく過ごしています。同期の皆様、お元気でしょうか。

板橋区 山名(鶴見)朋子(平成元年卒)

夫の海外赴任により、家族でベトナムのハノイに転居致しました。任期は平成25年12月より5年です。帰国しましたら連絡致します。

中野区 小林(今村)陽子(平成2年卒)

会報いつもありがとうございます。結婚を機に教員を辞め、現在都内の児童館職。娘は高校生、夢は支援学級教諭。息子は剣道全国大会出場目指して、日々稽古!!

さいたま市 奥山真理(平成2年卒)

昨年、思うところがあ、名前を真理綾(まりあ)から真理(まり)に変えました。さいたまスーパーアリーナのすぐとなりに住んでいます。西高がなつかしい。

さいたま市 板垣 豪(平成4年卒)

先日、軟式テニス部の同期と新年会を開きました。子供の数が増えてきて、時間の流れのはいいに驚きました。また西高に入学する子がいるかもしれませんね。

桶川市 竹内大介(平成5年卒)

平成16年に土地家屋調査士事務所を開設して、ちょうど10年が経ちました。感謝の気持ちを忘れずに日々を過ごしたいと思えます。

大宮区 大谷義武(平成6年卒)

会社を起して八年になります。数え四十

才となり、「不惑」進んでいけるよう頑張つて参ります。

さいたま市 福島智也(平成6年卒)
大好きなさいたま浦和に戻ってきました。あいかわらずの仲間とあいかわらずに付合っています。

目黒区 中村(新井)清二(平成8年卒)

おはずかしながら、大卒後初めて正規の職に就くことになりました。桜がまぶしいです。自主自立の道はなかなか厳しい、という感想です。

さいたま市 和田牧子(平成8年卒)

平成二十五年に自宅を購入しました。なんと、売り主の社長様は西高の先輩!!人生のいろいろな場面で西高カードがまだまだ登場しそうです。

草加市 川又(島辺)陽子(平成8年卒)

同級生と結婚し、現在2人の男の子の母です。八潮市 山野井久美子(平成16年卒)
今年も素晴らしい会報を届けてくださいましたこと、心より御礼申し上げます。こうしてまたあの頃へと戻れること、再びつながるめぐり逢いに心をはなませて☆

川越市 泉田悠人(平成18年卒)

県内公立高校で、2学年の担任として毎日すごしています。恩師をまねて「いらない話」をしながら化学の授業をしています。ゆくゆくは浦和西高校で。

さいたま市 和多田 望(平成22年卒)

クラブT・デザインの勉強をはじめて2年生に進級します。

〔係より〕

西麗会の会員登録は、「年度」ではなく「暦年」です。ハガキ、寄付、住所変更、お問い合わせはすべて「暦年」でご記入ください。

お世話になっております。妻辰美は昨年十一月に召天しましたのでお知らせ致します。今迄いろいろと有難うございました。

大田区 赤沼経議(昭和34年卒)
夫赤沼経議は昨年十月十九日に死去いたしました。生前西高時代の懐かしい思い出を沢山聞かせてもらいました。西麗会の御発展をお祈りしております。今迄有難うございました。

座間市 長澤(小林)貴美子(昭和36年卒)

小林貴美子は先日亡くなりました。いろいろとありがとうございます。

川越市 高岡威之(昭和36年卒)

三月五日に亡くなりました。

さいたま市 大島紀子(昭和37年卒)

本人は一昨年八月に病死しております。色々と大変お世話になりました。ありがとうございました。平成25年1月26日(63才)にて永眠しました。報告にて失礼致します。

岡谷市 山田健二(昭和43年卒)

山田健二は、平成25年9月25日に、亡くなりました。

さいたま市 岸浦正洋(昭和44年卒)

平成21年6月8日死亡。昭和26年4月7日生まれ。

さいたま市 鈴木(小見)よし江(昭和44年卒)

妻よし江におきまして昨年6月16日死亡しました。

さいたま市 池田 誠(昭和44年卒)

夫は平成25年11月28日に逝去しました。今まで西麗会会報、ありがとうございます。

横浜市 岡部俊司(昭和48年卒)

弟、岡部俊司は、平成25年5月12日に死去いたしました。

さいたま市 矢野遼介(平成19年卒)

息子遼介は昨年10月、事故で他界致しました。西高の仲間との集い等も常に楽しみにしておりますので残念でありません。皆様の御多幸をお祈りしております。父母。

寄付者のお名前

(敬称略)

いつも西麗会への尊いご寄付をありがとうございます。約二万人の西麗会員の心を結ぶ会報の印刷・発送にあてられるほか、現役西高生の自治活動を応援するため、西高祭補助費などにも使わせていただいております。

本欄は毎年一月末日をもって区切り、それ以後に届いた分は翌年の会報に掲載いたします。



鈴木和子 宮田仁子
鈴木和子 松崎喜美子
大小原幸好 種村禮靖
中山修 河田八郎
佐久間義廣 清水英明
原惠行 堀金勝
間島昭栄 山田勝弘
伊地知恭子 石倉春美
金子幸子 鈴木芙美子

昭と26年卒(3回) 昭と35年卒(12回)
岡田幸子 粕川初枝 竹ノ谷裕子 松村昭子
宮山初枝 森川靖子 松田正剛 小池敏子
山岸君子 吉田克子 中村竹子 中野健一

昭と27年卒(4回) 昭と36年卒(13回)
鶴澤美夜 梅田亮子 新井英一 田中利幸
坂本佳鶴子 五十嵐一夫 長浜勝栄 松本晃

昭と28年卒(5回) 昭と37年卒(14回)
正木敏雄 島田幸子 山根祥二 栗本東子
島田幸子 西口和子 大熊幸子 国谷桂子 高橋洋 門本ヨリ子
西口和子 山本芙蓉 今井忠 大岩昇

昭と29年卒(6回) 昭と38年卒(15回)
黒澤和子 山本芙蓉 金子悦子 栗原能
昭と30年卒(7回) 昭と39年卒(16回)
五十嵐英男 飯村恒二 立川武司 渡辺正朋 府川代四男
大塚仁郎 大室安太郎 渡辺正朋 長本和子 松井都

昭と31年卒(8回) 昭と40年卒(17回)
新井英一 田中利幸 興水敏男 村上明夫
長浜勝栄 松本晃 小川敬子 小林茂
山根祥二 栗本東子 高橋司全 青山明子

昭と32年卒(9回) 昭と41年卒(18回)
今井忠 大岩昇 金子正人 齋藤庸夫 宇根等
高橋洋 門本ヨリ子 藤倉博 齋藤庸夫 高橋みつ子
高橋幸子 栗原能 藤倉博 齋藤庸夫 増子啓三 池澤堯彦
立川武司 渡辺正朋 府川代四男 長谷川幸雄 長谷川幸雄 大熊幸雄

昭と33年卒(10回) 昭と42年卒(19回)
豊島泰之 古畑喜美子 福島眞砂代 吉岡信二 稲垣昇 伊藤きみ子
安西一紀 竹ノ谷光美 藤井克己 吉岡信二 上倉功 齊藤勉
町田利之 本庄久子 入澤洋子 中河原喬一 佐竹恵津子 松本知歌子
高村泰裕 木戸晃

昭と34年卒(11回) 昭と43年卒(20回)
佐藤靖子 小川紀夫 那須雅江 山田菜穂子
高村和子 中枝和子 村井公子 齋藤賢
三井芳子 粕谷徳元 秋元ひかる 守川黎子
井川征郎 吉田維夫 小寺秀仁 島村一彦
高橋幸雄 近藤和中

昭と25年卒(2回) 昭と44年卒(21回)
大澤志女乃 河岡克子

昭と19年卒(旧7回) 昭と45年卒(22回)
井上昭子

昭と18年卒(旧6回) 昭と46年卒(23回)
佐々木しげ 脇屋容子
昭と24年卒(旧12回) 昭と47年卒(24回)
天野美子

昭と17年卒(旧5回) 昭と48年卒(25回)
鈴木栄子 角田美沙枝
昭と16年卒(旧4回) 昭と49年卒(26回)
浅子一子 田口美與子
昭と23年卒(旧11回) 昭と50年卒(27回)
江原喜久子 岡本明子
月野喜美子 鶴見初枝

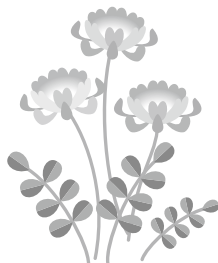
昭と15年卒(旧3回) 昭と51年卒(28回)
板井喜美 小泉ちよ
昭と21年卒(旧9回) 昭と52年卒(29回)
大熊綾子 清野幸子

昭と14年卒(旧2回) 昭と53年卒(30回)
鎌木美恵子 杉山幸子

昭と13年卒(旧1回) 昭と54年卒(31回)
徳江和賀子 松本登美

昭と12年卒(旧0回) 昭と55年卒(32回)
川上清子 中野敦子

- 昭44年卒(21回)
 - 安藤昭 奥山清志
 - 外山雅一 関口彰子
 - 石井均 丸山紀子
 - 池亀利恵子 小宮英夫
 - 榊原啓子 新井三津恵
 - 鈴木真澄 高橋正 武井隆一
 - 加藤えみ子
- 昭45年卒(22回)
 - 島崎富夫 大類由美子
 - 和田和子 綿貫保子
 - 島茂美 島泰子
 - 赤羽真如 林一雄
 - 陳野敏弘 阿部博之
 - 新井康俊 上野邦雄
 - 塚原重和 井原誠吉
 - 吉田伸 堀田美枝子
- 昭46年卒(23回)
 - 澤井敏夫 炭谷紅一
 - 舩津徳英 白鳥武
 - 武藤智江
- 昭47年卒(24回)
 - 福井一夫 堀富雄
 - 宇田川成子 岩城真幸
 - 野口万里子 今岡章夫
 - 志水茂 細田陽子
 - 白石哲郎 兼良子
- 昭48年卒(25回)
 - 安藤裕子 野島加代子
 - 川上行生 鈴木護
 - 吉倉康晴
- 昭49年卒(26回)
 - 高橋正 武井隆一
- 昭50年卒(27回)
 - 清宮千加男 道下敦子
 - 栗原宏夫 富樫正紀
 - 中川順子 竹内斎
 - 青山篤 夏堀操
 - 齊田保彦 河村郷子
 - 斉藤登 豊田勉
 - 田中政信
- 昭51年卒(28回)
 - 沼口正英 早船雅文
 - 満田三恵子 池田啓一
 - 嶋原勝久 松浦則夫
 - 伊藤京子 大迫義谷
 - 安西雪子 石川理恵
- 昭52年卒(29回)
 - 関口幸子 亀山浩一
 - 堀内比呂志 浅見哲哉
- 昭53年卒(30回)
 - 林明美
 - 間山和幸
 - 新藤葉子
 - 河野正 森田欣充
 - 鳥羽恵 赤羽明宏
 - 阿野清治 西山幸代
- 昭54年卒(31回)
 - 野島加代子
 - 岩崎昭 富田由賀子
 - 小林功 郷由美子
 - 田中こずえ
- 昭55年卒(32回)
 - 松本和幸 信沢雅志
 - 杉井美佐子 根本みどり
 - 今原真理子 平井順子
 - 田口久徳 田口里香
 - 中村研一 高橋かほる
 - 小野裕子
- 昭56年卒(33回)
 - 友松利英子 戸田仁
 - 栗田真琴 吉岡典子
 - 吉田新一 山崎智与里
 - 杉田忠彦 宝寺浩
 - 中村敬子 千田寛
- 昭57年卒(34回)
 - 福島久美子 吉田浩之
 - 山崎正一 増田裕一
 - 山下研二 松下晋司
 - 平井敦子
- 昭58年卒(35回)
 - 久保村康史 吉村理華
 - 羽田俊之
- 昭59年卒(36回)
 - 長島和久 萬田朗人
 - 伊藤育子 三野裕之
 - 渡邊ルミ 増沢智成
- 昭60年卒(37回)
 - 山中英実 長岡有実子
 - 間瀬功一 加藤美和
 - 設樂信生 大熊康典
 - 増田恵子 青木香
 - 笠井千奈美
- 昭61年卒(38回)
 - 信田照幸 石川幸
 - 長谷川友孝 牛山茂樹
 - 大富直輝
- 昭62年卒(39回)
 - 田上順子 島村明美
 - 高橋修一
- 昭63年卒(40回)
 - 奥山信男 齋藤貴弘
 - 長島典夫 遠藤孝明
- 平成元年卒(41回)
 - 深沢隆弘 笹本紀子
 - 栗原英一 楠瀬久美子
- 平成2年卒(42回)
 - 森切瑞恵 奥山真理
 - 青柳亮子 俵知之
- 平成3年卒(43回)
 - 森泉和宏 小野民由希
- 平成4年卒(44回)
 - 大西徹 橋本雅子
 - 谷島由季 本間幸信
 - 増沢智成
- 平成5年卒(45回)
 - 山内美紀子 竹内大介
- 平成6年卒(46回)
 - 大谷義武 岩本和久
 - 中村貞子
- 平成7年卒(47回)
 - 市原雄心
- 平成8年卒(48回)
 - 和田牧子 進藤文子
- 平成9年卒(49回)
 - 岩原久恵 松岡滋
 - 大塚信之介
- 平成10年卒(50回)
 - 片岡浩一
- 平成11年卒(51回)
 - 半田亮子 平井博明
 - 藤見歩 阿部愛
- 平成12年卒(52回)
 - 海老原朱里 近野綾子
- 平成13年卒(53回)
 - 宮中智洋 大栗利恵
 - 市村里紗
- 平成14年卒(54回)
 - 有馬元明 榎本淳
- 平成15年卒(55回)
 - 坂西野風子 加藤まみ
 - 山野井久美子 神田明
- 平成16年卒(56回)
 - 芝崎俊貴
- 平成17年卒(57回)
 - 矢野遼介 中越琢人
 - 三善隆弘
- 平成18年卒(58回)
 - 坂下朝美 佐藤佳代
- 平成19年卒(59回)
 - 若林碧 河村尚直
- 平成20年卒(60回)
 - 竹内哲
- 平成21年卒(61回)
 - 若林碧
- 平成22年卒(62回)
 - 若林碧
- 平成23年卒(63回)
 - 若林碧
- 平成24年卒(64回)
 - 若林碧
- 平成25年卒(65回)
 - 若林碧
- 平成26年卒クラス会出席者一同





村上実行委員長あいさつ



記念オーケストラによる歓迎演奏



80周年式典

2014.11.8



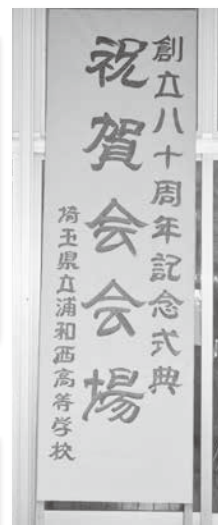
記念講演 林 克彦さん



西高締め



「自主自立」のプレート披露



メッセージツリー



PTA会長 青山さん



創立八〇周年記念特集 別所沼のほとりで

「八〇周年記念誌」刊行に寄せて

浦和西高校80年の歴史のうち昭和9年から16年間は、その前身である浦和第二高等女学校、浦和第二女子高校でした。独立した校地・校舎はなく、別所沼のほとりにあった埼玉師範学校の校舎で学んでいました。この16年間に学んだ約590名のうち、今回21名の方の手記を「西高八〇周年記念誌」に掲載することができました。

時代の荒波の中で

当時女学生だった皆さんも今や80代、90代。別所沼のほとりで過ごした日々をまるできのうのこのようにみずみずしく活写していることに驚かされました。

そしてこの方も、この時代に学んだことがその後の人生の「根っこ」となっていることに感銘を受けました。

つかの間の平和の時代に、個人的で生徒思いの先生方に恵まれて勉強やスポーツに打ち込んだこと。戦争が暗い影を落とし、勤労奉仕に明け暮れる日々を過ごしながらもおしゃれを楽しむ余裕は忘れていなかったこと。戦争が終わってあらゆる価値観がひっくり返り、何もかもが音を立てて変わっていったこと…。時代の荒波の中で一日一日をひたむきに生きた女学生たちの姿がたまらなくとおしく感じられます。

「併設中学校」のこと

この時代は戦争のため修業年限や教育課程が目まぐるしく変わりました。たった一年のちがいで修学旅行が廃止されたり、同期で入学した生徒が卒業のときは旧制高女卒と新制高女卒とに分かれたり、ということもありました。

年表作成のために卒業生名簿や過去に刊行された記念誌を調べても記述の不一致が見られ、時代の混乱ぶりを映しているように感じました。



▲下川先生を囲んで

戦後の学制改革で旧制高等女学校の二、三年に在籍していた人は「併設中学校」の二、三年に読み替えられ(一年生は募集停止)、新制中学の卒業生として就職したり、上級学校



▲別所沼

へ進学したりしました。

西麗会会則ではその4条に「本会は、埼玉県立浦和第二高等女学校、埼玉県立浦和第二女子高等学校とその併設中学校(中略)卒業生を会員とし」とあり、併設中学校の卒業生も西麗会員なのですが、名簿等にも掲載されていません。

具体的には昭和23年3月に73名、翌24年3月には18名が併設中学校を卒業しています。このうちのほとんどは新制の浦和第二



女子高校に進学していると考えられますが、他の高校に進んだ人はいなかったのか、中学校だけで就職した人はいなかったのか、原稿依頼とともに皆さん

次の時代のために

「八〇周年記念誌」に手記を掲載した21名の方は全員が女性でした。それもそのはず、西高の前身は女子校だったのです。西高に初めて男子生徒が入学したのは昭和25年。男性の皆さん、次の創立九〇周年(平成36年)、百周年(平成46年)はあなたの出番です。男子第一期生ならではの苦労や皇山への移転のころの思い出などをお寄せください。



今回の八〇周年記念誌編集では資料が集まらず苦労しました。服装自由化、バリケード封鎖、国体マスゲーム問題など西高の歴史の一コマに立ち会われた皆さん、今から資料や写真などを保存しておいてください。次の記念誌を作るのはあなたです。

(広報部 小林 功)

このページの写真は、旧制2回卒業生鎌木美恵子さんにご提供いただいたものです。

創立八〇周年記念特集 記念事業の報告

浦和西高校は昨2014年に創立80周年を祝いました。

学校、PTA後援会、西麗会ではこの慶事を祝うため記念事業実行委員会を組織して準備にあたりました。

西麗会からは理事多数が実行委員となり、記念式典をはじめとする記念事業を支えました。

このたび、すべての事業が終了しましたので報告します。

2014年11月8日、西高体育館において記念式典が挙行されました。

西高管弦楽部生徒とOBがこの日のために編成した記念オーケストラによりワグナー作曲「ニルンベルクのマイスタージンガー」が演奏され、感動的な幕あけとなりました。

式典では記念事業実行委員長の村上明夫西麗会長が80年の歴史をふり返り、自主自立の校風を大切に、とあいさつをしました。

また現役の生徒会長矢吹威斗さんが生徒を代表して「90周年、百周年を見据えて西高に更なる幸福がもたらされるように」と力強い決意を述べ、頼もしく思いました。

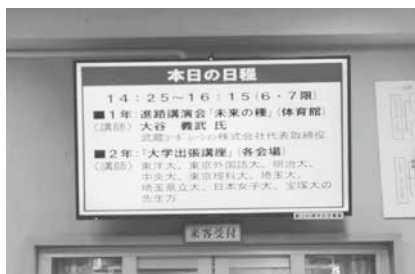
記念講演は西麗会員(平成2年卒)

*

九州大学大学院医学研究院教授の林克彦さんがケンブリッジ大学での留学生活や山中伸弥京都大教授とのiPS細胞研究について話されました。自ら課題を見つけ、自ら決定し、自ら行動する力を「西高力」と名づけられ、西高力を培うことにより大きく飛躍してほしいと在校生にエールを送られました。

今回、80周年記念事業として行事や会議の場所を来校者に案内する「校内情報サイネージシステム」を設置しました。

このほか西高の校風である「自主自立」の文字を埼玉県産木材に記したプレートとの作成、浦和西高校歌(清水重道作詞)のオリジナル歌詞原稿を永く保存するための補修等の諸事業を記念事業部会が中心となり実施しました。



▲サイネージシステム

これまでにも10年の節目ごとに記念誌を発行していましたが、今回「西高

*

八〇周年記念誌」を刊行しました。変化の大きかった西高のこの10年間を記録し、写真やデータも多数収録しています。

西麗会担当のページでは西麗会総会や西麗会報などからこの10年の歩みを振り返ったページのほか、第二高女、第二女子高校時代に別所沼のほとりの鹿島台校舎に学ばれた皆さんにご協力いただき、手記を掲載いたしました。貴重な思い出を寄せてくださった皆様に心からお礼を申し上げます。また大切な写真や卒業アルバムをお送りくださり、感謝にたえません。ありがとうございました。

西麗会は総会の議決により、記念事業にかかる費用を負担いたしました。

*

同窓会だより 今日だけ高校生

四十周年同窓会、開かれる

峯岸 由治(昭和五十年卒)

昭和50年卒40周年記念同窓会は、10月19日(日)午後4時から、さいたま市にある浦和ロイヤルパインズホテルを会場に開かれました。当日は、恩師である形山素朗先生、河野卓生先生をお迎えし、121名の同窓生が集まりました。



開会に当たり、まず、鬼籍に入られた恩師、同窓生に黙とうをささげました。その後、田辺春夫氏の乾杯の音頭で会が始まりました。5年ぶりの再会となった同窓生は、会場のあちこちで、昔話や近況を賑やかに語り合っていました。

会の途中には、形山先生、河野先生からお言葉をいただいたり、若林正氏の大道芸「南京玉簾」「バナナのたたき売り」が披露されたりし、大いに盛り上がりました。

最後に、互いに元気で再会することを誓い合ってお開きとなりました。

アイルで同窓会

綿貫 保子 (昭和四十五年卒)

長い間私達の集まりの場を提供してくれた、同級生が経営する浦和区のレストラ
ンアイルが移転になるため旧店舗で最後の同
期会が2014年7月6日に開かれました。
43名の出席者が夜も更けるまで高校生に
戻って盛り上がりました。元気で素敵な笑
顔が溢れる楽しい時間を共有出来ました事
に感謝です。



緑寿の同窓会

大熊 幸雄 (昭和四十一年卒)

平成26年11月26日、4年振りの
学年同窓会が大宮パレスホテルで
開催されました。遠くは札幌市や
伊予市から駆けつけてくれて、93
名が出席しました。

同窓会は恒例の蒲輝和さんの司
会で2時間余り、引き続き同会場
で岡田達雄さんの司会で二次会。
物故者を慰霊する黙祷、「千の風
になつて」の合唱で始まり、「シャ
ンソンや新舞踊の御披露、川上信
夫さんのサッカー談義、篠原・片
岡組によるフォーク・ギター、事
前公募によるカラオケなどなど。

飲み放題の4時間はあつと言う
間に過ぎ、緑寿の同窓会はお開き
となりました。次回は「古希の会」
とすることで別れをしました。

* * * * *

緑寿とは77歳の喜寿、88歳の米
寿にならつて、66歳を緑寿(ロク
ジュ)と呼ぶことを日本百貨店協
会が提唱したものです。



浦和西高昭和41年卒同窓会



一年C組クラス会

近藤 和 (昭和三十四年卒)

最近5年間のうちに、私たち昭和34年卒
(第11回生)の同窓会、懇親会が3回行われ、
そのあい間をぬって入学時1年C組であつ
た仲間のクラス会も2回開催されました。
これには多少の理由があります。

私たちが1年生だった2学期に西高は別
所沼畔から現在の見沼用水べりへと移転し
ました。夏休み返上の引越越し動員、亀池
(当時はこの呼称は無かった)の池堀りなど、
真夏の重労働も今では楽しい思い出です。

さらに翌年正月には、当時兵庫県西宮で
開催された全国高校サッカー選手権で、わ
が西高が優勝するという快挙が成し遂げら
れました。今でも西高史に燦然と輝く大記
録です。この大会では、私たちと同期の1
年生が、エースストライカーとして大活躍
しました。

これら1年生の時のエポック・メイキン
グな記憶に、さらに
校内合唱コンクール
における1年C組の
優勝が加わります。
課題曲は、「コロラ
ドの月」だったと記
憶しています。

あれだけ濃密な時
間を共有した私たち
は、だから、60年経つ
た今でも、学年同窓
会のあい間に、1年
C組クラス会を続け
ているのです。



5月24日(日)母校で会いましょう

～西麗会総会のご案内～



▲昨年の総会

- 日時 5月24日 (日)
 - 10:30 総会開会
 - 11:30 記念授業
 - 12:40 懇親パーティー
 - 14:30 閉会予定
- 会場 西高50周年記念館
- 記念授業講師 岡野 豊先生
- 演題 「水素イオンの不思議」



▲昨年の懇親パーティー

岡野先生は一九五〇年生まれ愛媛県のご出身です。大学卒業後昭和石油の研究所に就職、化学の研究一筋の生活でしたがご両親が先生だったことも影響して三四歳で初めて教壇に立たれました。

西高で平成三年四月から平成九年三月まで勤務され、最後に越谷北高校で校長先生を三年間勤められて退職されましたが現在も再度で教壇に立っていらっしゃいます。三四歳と遅いスタートだったのでも生徒たちを教えるのが楽しいと柔らかなお顔でお話しされる姿が印象的でした。西高時代は柔道場、剣道場が出来て柔道部の顧問をされ浦高や蔵高に出稽古に行っ



今年の総会の記念授業講師は理科(化学)の岡野豊先生です。

現在の仕事の間隙に読書、愛犬の散歩等充実の日々を送られています。

近年、家電製品等でもマイナスイオンやプラズマ等イオンが身近なものになって来ていますが目に見えないものの不思議について講義をして下さるとのこと、面白くて不思議な実験などもあるかもしれませぬ。

どんな授業になるのか今からとても楽しみです。

今年の記念授業は 岡野 豊先生 (化学)

「水素イオンの不思議」

卒業以来母校に一度も来ていない人も、時々懐かしくなって西高の空気を吸いに来ている人も今年は総会で再会しませんか。

(文責) 阿部 博之 (昭和45年卒)
綿貫 保子

編集後記

母校は26年度、創立80周年を祝いました。広報部では、実行委員会の一員として記念誌の制作に参画、第二高女卒業生による座談会の開催、寄稿依頼、写真の収集、編集など平年とは異なる経験をしました。

その教訓として、記録保存の重要性を再認識し、90年記念誌に向けて努めてゆきたいと思えます。

本号から目にやさしいA4判にしました。(大熊)

広報部会

- 大熊 幸雄・本間 葉子
- 堀田美枝子・小林 功
- 岩本 和久・片岡 浩一

編集・発行

西麗会

発行人 村上明夫
編集人 大熊幸雄

〒330-0042
埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1
FAX 048 (830) 1117
西麗会メールアドレス
info@seireikai.org
西麗会ホームページ
http://www.seireikai.org/index.html